

第 63 回日本栄養改善学会学術総会

スポンサーシップ趣意書



【テーマ】食を通して、つなぐ・つながる 人、知恵、技
～これからの栄養学をみちのくで語り合う～

学術総会会長 吉池 信男

(日本栄養改善学会東北支部会 支部長
青森県立保健大学健康科学部栄養学科 教授)

会期：2016年9月7日(水)～9月9日(金)

会場：リンクステーションホール青森

ホテルクラウンパレス青森、ホテル青森

関係各位

特定非営利活動法人日本栄養改善学会
第63回日本栄養改善学会学術総会へのご協力のお願い

謹啓、時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は特定非営利活動法人日本栄養改善学会の事業運営にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、この度、第63回日本栄養改善学会学術総会を、2016年9月7日（水）～9日（金）に、リンクステーションホール青森、ホテルクラウンパレス青森、ホテル青森において開催させていただくこととなりました。東北地方での開催は、第46回学術総会（1999年 福島）以来17年ぶりで、青森県での開催は今回が初めてとなります。東北6県の学会員で組織された実行委員会を中心となり、現在、開催の準備を鋭意進めているところです。

特定非営利活動法人日本栄養改善学会は、「栄養学と健康科学に関する幅広い分野で、学術的調査研究、情報コミュニケーションを行うとともに、一般の人々に対し、栄養管理の支援・助言・協力をを行い、さらに栄養改善・健康増進に関する知識及び技術の教育普及活動を行い、もって栄養学と健康科学の振興を図り、科学的根拠に基づく栄養実践活動により、国民の健康増進に寄与する」ことを目的として、さまざまな活動を行ってきました。

今回の学術総会では、「食を通して、つなぐ・つながる 人、知恵、技」をメインテーマとしました。私たちのより良い「食と健康」を支える学問的基盤である栄養学とその実践について、「人」と「人」、「人」と「知恵」や「技」をどのようにつなげていくか、そしてそれらのつながりの中で、どのように展開していくのかについて、全国の学会員（約6,500名、例年約3,000名が参加）を迎えて、みちのくの地でともに語り、考えていきたいと思っております。

つきましては、本学術総会開催の趣旨にご賛同いただき、格別のご高配を賜わりたくお願い申し上げます。本来ならば参上の上、お願いすべきことではございますが、失礼ながら書面にて、ご理解とご支援を賜りたく、衷心よりお願い申し上げます。

謹白

2015年11月吉日

第63回日本栄養改善学会学術総会
学術総会会長 吉池 信男
(日本栄養改善学会東北支部会支部長
青森県立保健大学健康科学部 教授)



第 63 回日本栄養改善学会学術総会 開催概要

1. 学術総会名称：第 63 回日本栄養改善学会学術総会
2. 会 期：2016 年 9 月 7 日（水）～9 月 9 日（金）
3. 会 場：リンクステーション青森（青森市堤町 1 丁目 4 番 1 号）
ホテルクラウンパレス青森（青森県青森市本町 5-5-4）
ホテル青森（青森県青森市堤町 1-1-23）
4. 主 催：特定非営利活動法人日本栄養改善学会
5. 学術総会会長：吉池 信男（青森県立保健大学教授）
6. 顧 問：加藤 秀夫（東北女子大学教授）
7. 学術総会テーマ：食を通して、つなぐ・つながる
人、知恵、技
～これからの栄養学をみちのくで語り合う～
8. 学 会 規 模：予定参加者 約 3,000 名
9. プ ロ グ ラ ム：学術総会会長講演、特別講演、学会賞受賞講演、メインシンポジウム、
（予定）
教育講演、スポンサードシンポジウム、ワークショップ、
一般講演（口頭発表）、一般講演（示説発表）、
ランチョン（企業共催教育）セミナー、
研究自由集会、企業展示、書籍展示、市民公開講座、栄養相談
10. 学会に関するお問い合わせ先：
第 63 回日本栄養改善学会学術総会 事務局
事務局：〒030-8505 青森県青森市浜館間瀬 58-1
青森県立保健大学 健康科学部栄養学科内
E-mail：kaizen63@jsnd-tohoku.jp
11. スポンサーシップに関するお問い合わせ先：
第 63 回日本栄養改善学会学術総会 運営事務局
〒980-0824 仙台市青葉区支倉町 4-34 丸金ビル 6 階
日本コンベンションサービス株式会社 東北支社
Tel：022-722-1311 / Fax：022-722-1178
E-mail：kaizen63@convention.co.jp

4. 共催シンポジウム募集要項

1. 名 称 : スポンサーシップシンポジウム
(ランチョンセミナーとシンポジウムの同時開催)
2. 主 催 : 第63回日本栄養改善学会学術総会
第63回日本栄養改善学会学術総会との共催とします。
【記載例】 共催：第63回日本栄養改善学会学術総会/〇〇〇 株式会社
3. 開 催 日 : 2016年9月8日(木)、9日(金) 12:00~14:00(予定)
※時間につきましては、プログラム編成等を考慮の上、決定させていただきます。
4. 会 場 : ホテルクラウンパレス青森(予定)
5. プログラム : テーマ、座長、講師については各共催企業様のご希望をいただき、
学術総会プログラムとの調整のうえ、ご相談・決定させていただきます。
6. 発表形式 : PCによるプレゼンテーションのみ。
7. 区 分 :

開催会場	開催日	枠	会場規模	共催費(税8%込)
ホテルクラウンパレス青森 (予定)	9月8日(木)	1	600席規模	¥1,080,000-
	9月9日(金)	1		

※共催費には以下の費用が含まれます。

- (1) 会場費
- (2) 会場付帯設備費(机、イス、ステージ、音響設備、照明など学術総会使用の付帯設備)
- (3) 会場付帯機材費(プロジェクター等の学術総会使用の機材)

※共催費には以下の費用は含まれておりません。

- (1) 司会/演者への謝金、旅費(貴社規定により)
- (2) 控室での接遇飲食費・機材費
- (3) 参加者への飲食代(昼食弁当代、菓子代、お茶代等)
- (4) 運営費用(学術総会使用以外の追加機材費/看板装飾費/運営人件費 他)
- (5) ポスター/チラシ等印刷制作物

8. お申込方法： 共催シンポジウム申込書にご記入の上、
E-mail または FAX にてご送付ください。
9. 申込締切： 2016年2月25日(木)
10. 注意事項： 以下の点にご注意ください。
- (1) テーマ、司会、講師については共催企業様のご希望をうかがった後、
学術総会プログラムと調整のうえ、ご相談・決定とさせていただきます。
 - (2) 各社制作によるチラシ等の事前案内は、あらかじめ事務局にご連絡いただき、
了解を得たうえで行ってください。
 - (3) 請求書発行後のキャンセルは、原則として受け付けません。
 - (4) 本学術総会の運営につきましては下記運営事務局に委託しておりますので、
詳細につきましては、運営事務局を通してご連絡申し上げます。
11. 共催シンポジウムに関するお問い合わせ先：
- 第63回日本栄養改善学会学術総会 運営事務局
〒980-0824 仙台市青葉区支倉町4-34 丸金ビル6階
日本コンベンションサービス株式会社 東北支社
Tel：022-722-1311 / Fax：022-722-1178/ E-mail：kaizen63@convention.co.jp

第 63 回日本栄養改善学会学術総会実行委員会組織

2015 年 11 月現在

学術総会役職		氏 名	所 属
顧問		加藤 秀夫	東北女子大学
学術総会会長		吉池 信男	青森県立保健大学
学術総会副会長		笹田 陽子	盛岡大学
		藤田 修三	青森県立保健大学
総務委員会	委員長	吉岡 美子	青森県立保健大学
	副委員長	棟方 秀和	青森中央短期大学
学術委員会	委員長	笠原 賀子	山形県立米沢栄養大学
	副委員長	佐藤 伸	青森県立保健大学
	副委員長	鈴木 秀子	会津大学短期大学部
会場運営・ 接遇委員会	委員長	齋藤 長徳	青森県立保健大学
	副委員長	舩澤 正博	青森中央短期大学
	副委員長	今村 麻里子	東北女子大学
広報・ 渉外委員会	委員長	片山 一男	尚絅学院大学
	副委員長	佐藤 実	秋田栄養短期大学
	副委員長	伊藤 佳代子	山形県村山保健所
事務局	局長	草間 かおる	青森県立保健大学

申込期限：2016年2月25日（木）

第63回日本栄養改善学会学術総会 運営事務局

担当：下条・松野 行



第63回日本栄養改善学会学術総会 共催シンポジウム申込書

申込日： 年 月 日

貴社・貴団体名			
ご所属部署名			
ご担当者名			
住所	〒		
TEL		TEL	
E-mail			
希望開催日程	<input type="checkbox"/> 9月8日（木） ・ <input type="checkbox"/> 9月9日（金）		
セミナーテーマ			
セミナー内容 ※未定の場合は 空欄でも結構です		ご氏名	ご所属
	司会 (候補)	ふりがな	先生
	講師 (候補)	ふりがな	先生
	講師 (候補)	ふりがな	先生
通信欄			